

2011年ナショナルトレーニング報告

佐野公彦（ナショナル強化プロジェクト責任者及びナショナルトレーニング担当者）

<活動実施日・実施場所>

- 5月26日 ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
- 6月16日 ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
- 7月23日 フットネスハウスパレット中川
- 10月6日 ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
- 12月8日 ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
- 12月17・18日 Jcourt/マスカットスタジアム（西日本ナショナルトレーニング）
- 12月23日 グランデリアスポーツ麻生（東日本ナショナルトレーニング）

<収支詳細>

—収入—

募金金額 78,400円

西日本 NT 推薦選手参加費 8,400円

—支出—

コート利用料 61,330円（12月8日・23日分は含まれておりません）

コーチ日当 68,000円

その他経費 27,714円（西日本 NT 交通費）・6,000円（西日本 NT 宿泊費）

—収支—

—76,244円

※活動費用のマイナス分は、協会のアクションプラン募金及び選手強化予算から捻出

<活動状況>

活動資金が必要金額より大幅に少なかったことにより、毎月2回の開催を断念して不定期開催で行って来ました。それを考慮して、参加対象選手を絞りました。ジュニアカテゴリーでは、今年の男子世界ジュニア団体戦を最大のターゲットにしていますので、そこに対象になってくる選手を中心に参加してもらいました。また、それと同時に、現在のナショナルメンバーではなく、そこに今後絡んでくると考えられる若手選手も参加してもらうようにしてきました。この方針は2012年も同様で、世界ジュニアが終了するまではジュニア男子代表候補選手達を中心に活動していきます。

<成果と課題>

まずは、各選手をアスリートとして育成していくということでしたが、各選手共に日常の

トレーニングもしっかり行い、練習や試合をする上での準備などもきちんと行えるようになってきました。これは非常に大切なことであり、この活動の目標の一つでありました。また、技術的な部分でも、1つ1つのショットを考えて打つこととそのスキルのレベルをあげることをテーマとして取り組んできましたが、男子のジュニア代表候補選手達は、この部分に関して大きく成長したと感じています。一方、練習参加回数が少ない女子選手や数年後のジュニア代表の候補にあがってくると考えられる選手達はまだ十分とは言えず、ウォームアップや細かいスキルの部分では今後も情報提供を行い育成していく必要があるのが現状です。

また課題としてあげられることは、一部の選手達のレベルアップが速く、それを追う選手達とのレベル差が大きくなっているという点です。開催回数を多くすることができればその点も少しは改善できると思われませんが、活動費用が全く足りないこともあり難しい状況です。また、同時進行で進めていくことはプログラムの面でも困難でもあり、本末転倒になり現在の目標を見失う可能性もありますので、慎重な判断が必要だと考えています。

<2012年度の活動方針>

何度も触れますが、7月中旬から始まる男子世界ジュニアが最大のターゲットになります。今のジュニアチームは日本のジュニアが海外遠征を開始してから考えても最もチームとしてメンバーが揃っています。そのチャンスを生かすためにも、大会終了するまではこのチームメンバーの強化を最優先に活動をしていきたいと考えています。もちろん、シニアの代表派遣もありますので、それに関してはシニアチームの強化を考えた活動になります。

世界ジュニア終了後は、来年開催されます女子世界ジュニアに向けての準備と2015年のアジア大会時のシニアチームに絡む若手選手の育成及び強化に方向性を変えていく予定です。

具体的な方法は、4月末に開催されますアジア選手権・6月のアジアジュニア個人戦・男子世界ジュニアの結果及び内容を踏まえて決定していきます。